
● 目 次 ●

- * トピックス
- * 全数把握疾患
- * 警報・注意報
- * リンク

★トピックス★

- インフルエンザの流行について
- 後天性免疫不全症候群と世界エイズデーについて

● インフルエンザの流行について

○ 栃木県及び宇都宮市では、第37週（9月8日から9月14日まで）における定点医療機関当たりのインフルエンザの患者報告数が、流行の目安である「1.00人」を超えており、現在も患者報告数が増加傾向にあります。

第44週（9月27日から11月2日まで）においては、注意報レベルである「10.00人」を超え、第45週には宇都宮市内で警報レベルである「30.00人」を超えました。

今後も高い状態で推移することが予想されますので、引き続き、感染防止対策の徹底をお願いします。

＜直近5週のインフルエンザの発生状況＞

【宇都宮市】

- 第41週： 6例（定点当たり 0.50人）
- 第42週： 8例（定点当たり 0.67人）
- 第43週： 75例（定点当たり 6.25人）
- 第44週： 284例（定点当たり 23.67人）
- 第45週： 472例（定点当たり 39.33人）

【栃木県内（宇都宮市含む）】

- 第40週： 30例（定点当たり 0.64人）

第41週： 37例（定点当たり 0.79人）
第42週： 61例（定点当たり 1.30人）
第43週： 178例（定点当たり 3.79人）
第44週： 649例（定点当たり 13.81人）

＜インフルエンザについて＞

- ・インフルエンザを予防する方法としては、以下があげられます。
流行前のワクチン接種、手洗い等、適度な湿度の保持
十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
人混みや繁華街への外出を控える
- ・宇都宮市では、インフルエンザの流行期間中はホームページで市内の発生状況を毎週更新していますので、ご覧ください。

＜市内のインフルエンザ発生状況：宇都宮市＞

<https://www.city.utsunomiya.lg.jp/kenko/iryo/kansensho/influenza/1004519.html>

＜インフルエンザ流行レベルマップ：国立健康危機管理研究機構＞

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/a/influenza/020/flu-map.html>

＜インフルエンザ（総合ページ）：厚生労働省＞

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou_kekkaku-kansen_shou/influenza/index.html

＜インフルエンザQ&A：厚生労働省＞

https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou_kekkaku-kansen_shou01/qa.html

● 後天性免疫不全症候群と世界エイズデーについて

【後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）の発生状況】

- ・宇都宮市内では、2025年第1週から第45週までの報告数は4件、2024年の報告数は0件でした。
- ・栃木県内（宇都宮市を除く）では、2025年第1週から第44週までの報告数は12件、2024年の報告数は20件でした。
- ・全国では、2025年第1週から第44週までの報告数は718件、2024年の報告数は991件でした。

【後天性免疫不全症候群（エイズ）の特徴】

- ・病原体は、ヒト免疫不全ウイルス（human immunodeficiency virus ; HIV）

です。

- ・後天性免疫不全症候群（エイズ）は、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）の感染によって生じ、適切な治療が施されないと重篤な全身性免疫不全により日和見感染症や悪性腫瘍を引き起こす状態をいいます。
- ・主な感染経路には、性的接觸、母子感染（経胎盤、経産道、経母乳感染）、血液によるもの（輸血、臓器移植、医療事故、麻薬等の静脈注射など）がありますが、血液や体液を介して接觸が無い限り、日常生活ではHIVに感染する可能性は限りなくゼロに近いといえます。
- ・唾液や涙等の分泌液中に含まれるウイルス量は存在したとしても非常に微量で、お風呂やタオルの共用で感染した事例は今のところ報告されていません。
- ・HIV感染からエイズ発症までの自然経過は、感染初期（急性期）、無症候期、エイズ発症期の3期に分けられます。
- ・治療は、3剤以上の抗HIV薬を組み合わせて服用する多剤併用療法が標準治療法です。治療によりウイルスを完全になくすことはできませんが、病気の進行を大幅に抑えられHIVに感染している人から他の人への感染リスクが大きく低下することも確認されています。

【世界エイズデーについて】

- ・毎年12月1日は、後天性免疫不全症候群（エイズ）のまん延防止とエイズ患者やHIVの感染者に対する差別・偏見の解消を目的とし、1988年に世界保健機関（WHO）により「世界エイズデー」として定められました。
- ・令和7年度のキャンペーンテーマは「U=U 検出されない=性感染しない」です。
「U=U」とは、HIV治療を受けて血液中のHIV量が検出限界値未満（Undetectable）のレベルに継続的に抑えられているHIV陽性者からは、性行為によって他の人にHIVが感染することはない（Untransmittable）ということを表すメッセージです。
- ・宇都宮市では、11月25日から11月28日にかけて、宇都宮市役所及び宇都宮市保健所のエントランスホールにおいて、「世界エイズデー」のパネル展示を行います。
チラシや普及啓発グッズも設置予定です。是非、お立ち寄りください。
- ・宇都宮市保健所では、12月6日（土）13時30分から、HIVと梅毒の即日検査を実施します（無料・匿名・完全予約制（15人まで））。
- ・エイズと同じく、性感染症である梅毒感染者も増加傾向にあることから、エイズとともに今後の発生動向に注意し、予防対策を心がけましょう。

＜HIV 感染症／AIDS（後天性免疫不全症候群）：国立健康危機管理研究機構＞
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/400-aids-intro.html>

＜感染症法に基づく医師の届出のお願い（9 後天性免疫不全症候群）：厚生労働省＞

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekakku-kansenshou11/01-05-07.html>

○全数把握疾患○

・10月期（9月29日～11月2日の5週間）に市内で発生した全数把握疾患は、次のとおりでした。

1類感染症…届出なし

2類感染症…結核＝5件

3類感染症…なし

4類感染症…レジオネラ症＝3件

5類感染症…カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症＝1件

侵襲性肺炎球菌感染症＝1件

梅毒＝5件

バンコマイシン耐性腸球菌感染症＝1件

百日咳＝28件

◆警報・注意報◆

9月29日～11月2日の国立感染症研究所の感染症発生動向警報システムによる市内の感染症警報・注意報は、次のとおりです。

40週 警報：伝染性紅斑（県北、安足地区）

　A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（県北地区）

　注意報：なし

41週 警報：伝染性紅斑（県北地区）

　A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（県北地区）

　注意報：なし

42週 警報：A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（県北地区）

　注意報：なし

43週 警報：A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（県北地区）

　注意報：なし

44週 警報：A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（県北地区）

　注意報：インフルエンザ（宇都宮市、県南、安足地区、県全体）

警報・注意報の解説（栃木県感染症情報センター）

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/e60/tidctop.html>

★リンク★

○令和7年度感染症発生状況（宇都宮市）

<https://www.city.utsunomiya.lg.jp/kenko/iryo/kansensho/1004513.html>

○栃木県感染症情報センター（県内の状況）

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/e60/tidctop.html>

○国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト（全国の状況）

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>

○感染症法に基づく届出基準と様式

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekakuk-kansenshou11/01.html>
